



鈴峰中だより

令和7年 5月16日

第5号

校訓『明るく 美しく 楽しく』

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhreiho>

鈴鹿市立鈴峰中学校

◆◆◆ 学校図書館オリエンテーション ◆◆◆

先週5月10日(金)、1年生が「学校図書館オリエンテーション」を行いました。学校図書館巡回指導員さんに、鈴峰中学校の図書室(学校図書館)の使い方や本の探し方など、活用方法について説明をしていただきました。実際にどのように活用するか、巡回指導員さんがクイズを出題してくれたり、グループごとに「おすすめの本」を選んで紹介したりと、本棚の分類や本の探し方、本の借り方など、楽しく学ぶことができました。

巡回指導員さんのお話の後、一人ひとり、読みたい本を選んで借りました。借りた本を静かに、黙々と読む姿がとても素敵でした。これからも図書室を利用して、様々なジャンルの本に親しみ、心を豊かに、人生を豊かなものにしていてもらいたいです。



オリエンテーションの様子



一人1冊、本を借りました。



静かに読書をしました。

◆◆◆ 読書のすすめ ～読書習慣の効果とは?～ ◆◆◆

学校図書館は、子どもたちがさまざまな本に触れ、知識を深める貴重な場所です。鈴峰中学校では、学校図書館での活動を通じて、子どもたちの読書習慣を一層育てていきたいと思えます。保護者の皆様にも、ご家庭でのお子さまの読書習慣を支えていただきますようお願いいたします。

☆**非認知能力の育成**：自分と違った価値観や考えに触れられるため、非認知能力(自己肯定感や思いやりなど)の育成につながります。

☆**想像力の発展**：文章を読むことで、想像力が豊かになり、コミュニケーション能力が育まれます。

☆**文化理解の促進**：異なる背景や文化を描いた本を通じて、他者の視点や価値観を理解し、共感する力が養われます。

☆**語彙力の向上**：本を読むことで新しい言葉や表現を学び、豊かな語彙が身につきます。

☆**情報の吸収**：さまざまな分野の本を読むことで、幅広い知識や情報を得ることができます。

☆**学業成績の向上**：読解力や記憶力が増し、学校での学習にもプラスの影響を与えます。



お昼休みの図書室

◆◆◆ 第1回学校運営協議会が行われました ◆◆◆

先週5月10日(金)、令和7年度 第1回 鈴峰中学校 学校運営協議会が行われ、本年度の学校経営方針や重点取組、新年度の学校の様子等を、委員の皆様にご説明させていただきました。そして、学校運営改革方針につきましては、委員の皆様よりご承認をいただきました。

また、議事の中では、委員の皆様からは「鈴峰中学校の子どもたちのために…」と、それぞれのお立場でできることや学校への支援等についてお話をいただきました。とくに「生徒の登下校の様子」や「不登校の状況」等、ご意見やご質問をいただき、地域の皆様の学校への関心が高く、いつも本校の教育活動にご理解、ご協力をいただいていることを強く感じました。本当にありがとうございます。



授業の様子



登校の様子



鈴峰中学校 校訓

今後の学校運営協議会では、地域と学校が連携・協働して鈴峰中学校の教育活動を進めていけるよう有意義な熟議を行っていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 自分にあった学習方法をみつけよう!! ◆◆◆

先週、生徒のみなさんには、令和7年度の「シラバス」と「家庭学習の手引き」を配付しました。「シラバス (Syllabus)」とは、ギリシャ語に語源を持つ言葉で「学習計画」という意味があります。

各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことで、鈴峰中学校の「シラバス」は、生徒のみなさんが一年間、何を学び、どのように学習を進めていくか、詳しく示されています。ぜひ、日々の授業や自宅での学習において、見通しを持って、主体的かつ計画的に学習に取り組むことができるように、一年間の学習の「道しるべ」として積極的にこの「シラバス」を活用してください。

また、「シラバス」と併せて「家庭学習の手引き」を配付しました。中学生としての家庭学習は、誰かに言われてやるべきことではなく、自分で決めて実行する、つまり、自主的、主体的にやるのが本来の姿です。

中学校での学習方法には、いろいろなやり方があります。しかし、これが一番いい方法だというものは残念ながらありません。学習の方法や進め方は人それぞれ違うので、「シラバス」や「家庭学習の手引き」を有効に活用して、自分にあった学習方法をみつけてください。

